



第九小だより

令和7年3月7日
学校評価特別号
八王子市立第九小学校

【学校ホームページ】 <http://hachioji-school.ed.jp/dai9e/>

【教育目標】 ◎よく考え自ら学ぶ子（重点目標） ○思いやりがあり助け合う子 ○明るく健康な子
「みんながかがやく、みんなでかがやく」



学校評価へのご協力ありがとうございます。 校長 宇都宮 晃

学校評価の結果がまとまりました。今年度は過去最高の回収率でした。ご協力に感謝申し上げます。下記いたしますように、全体としては概ね良いご評価をいただき嬉しく思っております。アンケートの自由記述欄でいただいたご意見は、紙面の都合でこの学校便りには掲載できませんでした。本校のホームページで、ほぼ全文を公開しています。ホームページのトップページ左側からダウンロードできますのでご覧ください。いただいた評価は、次年度教育活動にいかして参ります。

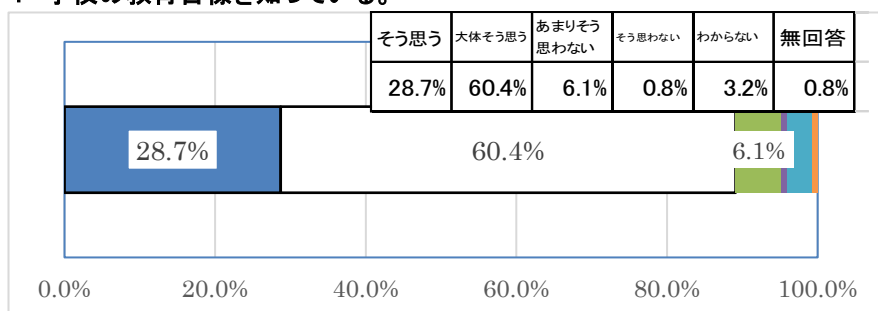
私たちは肯定的評価が8割以上あれば、数値のわずかな変化に一喜一憂せず、大きな変化や、私たちが重視している項目についての変化に注目しようと考えています。例えば、今回の項目6「いじめの早期発見」が良い評価をいただいておりますが、気がかりな結果です。改善に努めてまいります。第九小学校は地域に支えられ、地域に根付く学校です。次年度も変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

※いただいた評価のうち、A評価+B評価を「肯定的評価」ととらえ、経年比較しています。

学校評価結果のうつりかわり ◎印は、過去7年間で最も良い結果。 ▼印は今年度の課題だと考える結果

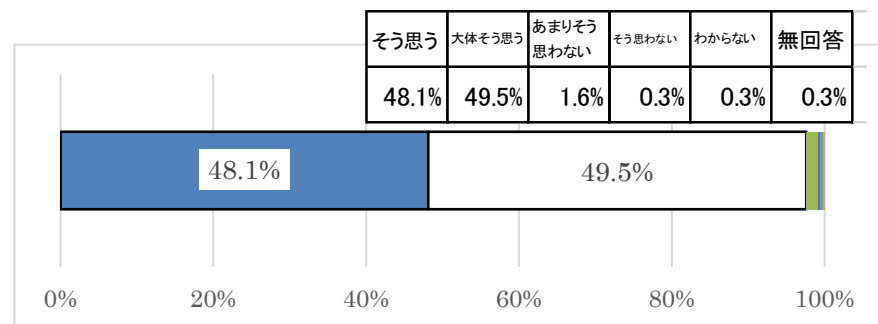
設 問（設問は簡略化してあります。）	H30	R1	R2	R3	R4	R5	今年度
アンケートの回収率・回収枚数	67.0% 197 枚	82.8% 293 枚	85.2% 300 枚	88.7% 323 枚	82.6% 300 枚	87.1% 344 枚	◎94.0% ◎376 枚
1 学校の教育目標を知っている。	77.3%	82.2%	86.0%	88.5%	86.0%	88.7%	◎89.1%
2 学校が力を入れて行っている取り組みを知っている。	82.7%	89.4%	88.4%	91.6%	87.0%	92.2%	◎97.6%
3 第二中と一緒に行う取り組みについて知っている。	84.3%	86.0%	コロナ禍で発問なし		78.3%	86.0%	◎88.6%
4 安心安全に過ごせるように安全管理に取り組んでいる。	昨年度から加わった、市統一新評価項目					97.7%	◎98.1%
5 子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	81.0%	87.0%	90.3%	92.0%	◎93.7%	89.8%	▼89.6%
6 いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	77.0%	82.5%	81.0%	◎84.8%	77.0%	82.0%	▼◎84.8%
7 授業や行事に意欲的に取り組むよう指導が行われている。	昨年度から加わった、市統一評価項目					90.7%	◎93.6%
8 説明、板書、話し合い、視聴覚機器の活用などの工夫に取り組んでいる。	79.0%	84.6%	80.4%	81.1%	84.3%	91.0%	◎91.5%
9 子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。	83.0%	89.7%	◎94.0%	90.7%	88.7%	89.8%	91.5%
10 よりよい学校生活が送れるように生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	78.9%	84.3%	91.0%	89.5%	88.3%	◎93.9%	93.6%
11 キャリアパスポートなどを用いて、生き方や将来についてキャリア教育を行っていることを知っている。	58.0%	55.9%	54.7%	57.6%	64.7%	90.4%	◎92.8%
12 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	76.6%	87.0%	83.7%	85.1%	87.3%	88.1%	◎88.6%
13 学校(学年・学級)は保護者に対して適切に情報を提供している。	79.0%	88.0%	88.0%	86.7%	87.7%	91.3%	◎94.9%
14 特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	昨年度から加わった、市統一評価項目					89.5%	◎89.9%
15 分かる授業が行われている。	81.0%	◎91.1%	88.3%	85.8%	90.7%	90.7%	90.4%
16 子どもは友だちを大切にしていると感じる。	87.0%	95.5%	◎97.7%	96.3%	96.3%	94.2%	95.5%
17 家庭では、生活習慣(あいさつ・食事・睡眠など)の定着に取り組んでいる。	87.8%	93.5%	◎95.0%	94.1%	92.3%	93.9%	93.6%

1 学校の教育目標を知っている。



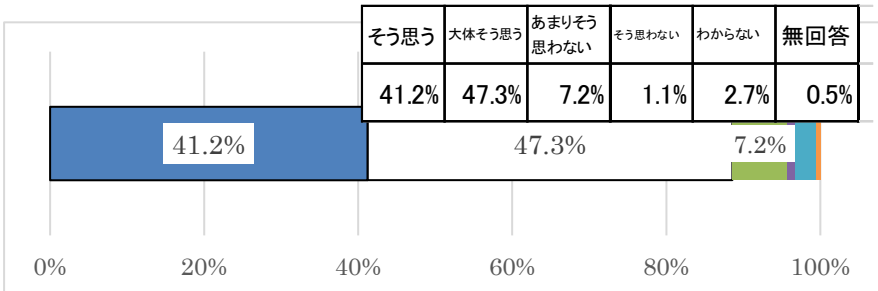
肯定的評価が約9割となり、近年で最も良い評価をいただきました。「九つの取り組み」の定着を感じています。目標共有だけでなく、その実現も進んでいます。あいさつ、音読、書いて考えることや共感的に聞くこと、健康な生活習慣などについて、地域の皆様と共に、引き続いて子ども達の力を伸ばしてまいります。

2 学校が力を入れて行っている取組を知っている。



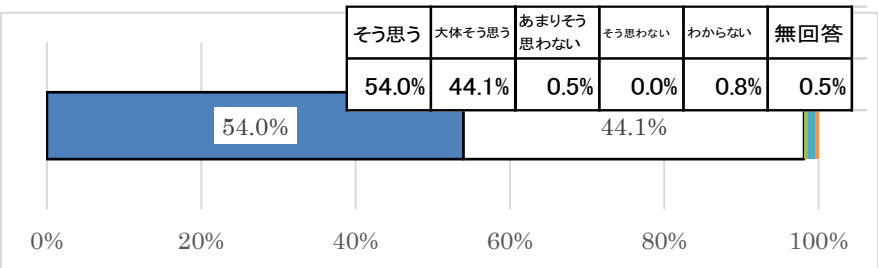
近年で最も良い評価をいただきました。A 評価は一昨年の 32%から昨年 38%、今年度約 5 割となりました。「九つの取り組み」は今後も学校の具体的目標として取り組み続けます。学年ごとの合奏・合唱の発表や音読発表会などにぜひご参加ください。なお後述しますが、本校の最重要課題は不登校状況の改善です。ご支援ください。

3 第二中と一緒にいる取組について知っている。



コロナ禍後、評価を大きく下げた項目ですが改善し、近年で最も良い評価です。第二中学校とは、目標を共有し、教職員がお互いの授業の様子を見学した上で話し合ったり、6年生が中学校の部活動や授業を体験したりする交流を続けています。クリーンデーなどの地域活動に本校からの参加者を増やしたいと考えています。ご家族でご参加いただけると幸いです。

4 安心安全に過ごせるように安全管理に取り組んでいる。

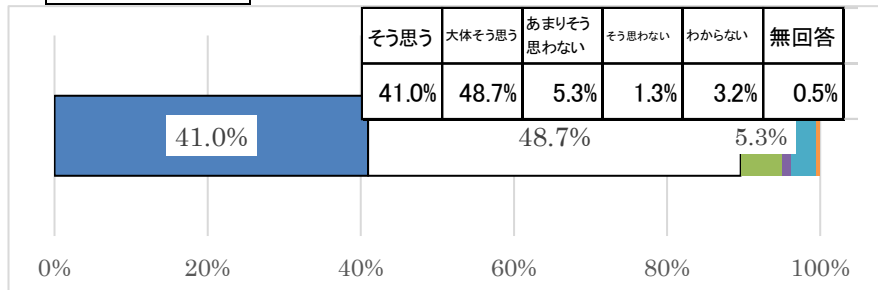


本校の学校経営方針では、「安全で信頼されることは学校の基盤」と考えており、A 評価が 5 割を超えたことを大変嬉しく思います。

毎年、地域の方々のお借りして災害時の避難所開設訓練を開いています。来年度も9月の学校公開時に開催予定です。ぜひご参加ください。

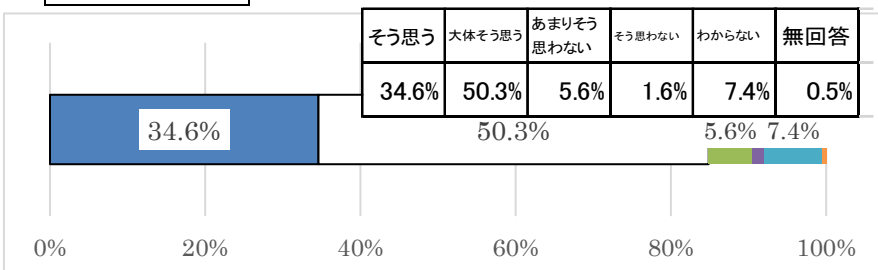
なお、学校経営方針は、本校ホームページトップ左からダウンロードできます。ご一読いただければ幸いです。

5 【課題となる評価】 子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。



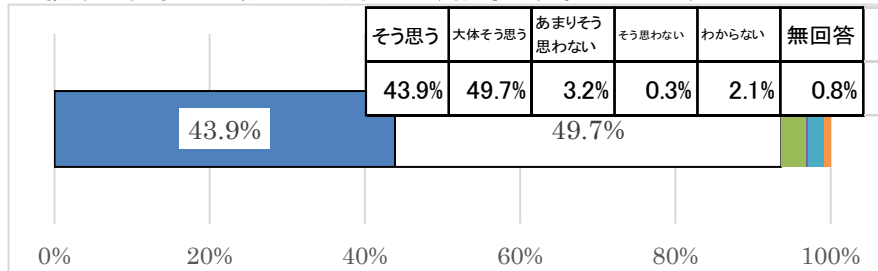
自分を大切にできる子どもが、友達を大切にできます。自分を大切にできる子どもを育てるには、大人が子どもを大切にする必要があり、「子どもを大切にする」ことは教育の基本です。この大切な項目の評価が令和 4 年度から約 4% 下がりました。気がかりな結果です。一人ひとりの子どもに丁寧に対応するとともに、子どもが自分の力で試行錯誤し、失敗も含めて認められる機会を校内研究などで探っていきます。

6 【課題となる評価】 いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。



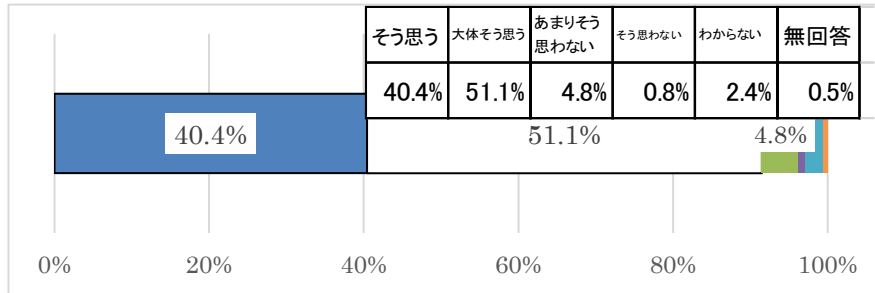
改善傾向にあります。肯定的評価が 8 割程度、A 評価は 3 割台です。本校の課題ととらえます。毎週いじめ対策委員会を開催し、教職員間での情報共有や早期対応に努めてきました。教科担任制などで、他の学級の担任が、授業を行う時間を増やしています。より多くの大人が子どもにかかわることをねらった改善です。

7 授業や行事に意欲的に取り組むよう指導が行われている。



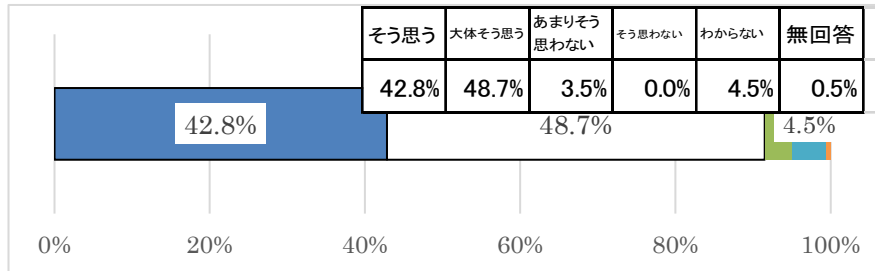
約 9 割の肯定的評価をいただきました。子どもが、授業や行事に意欲的に参加するには、「何を、どのように取り組めばよいのか明確であること」「友達と力を合わせて取り組めること」「試行錯誤や失敗が受け入れられること」が大切だと考えます。大きな行事はもちろんのこと、日々の授業でも心がけていることです。まず大人が試行錯誤することが大切なのかもしれません。

8 説明、板書、話し合い、視聴覚機器の活用などの工夫に取り組んでいる。



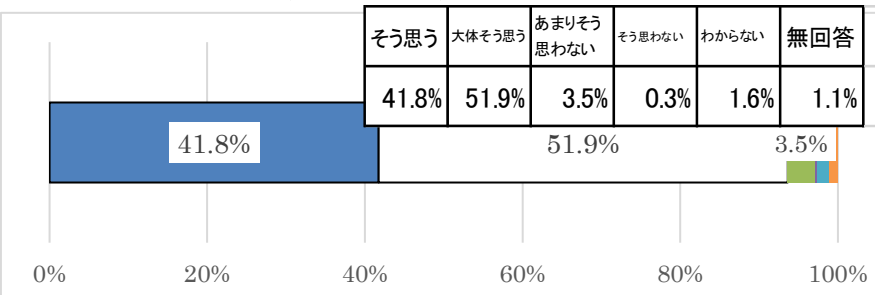
近年で最も良い評価をいただきました。クロームブックや大画面テレビなどICTの活用だけでなく、見学活動や体験活動、話し合い活動などにも工夫を凝らしています。小学校では、学習自体が楽しいことが大切です。「楽しくて力のつく授業」「一人でも多くの子が参加できる授業」をめざして、日々の授業改善に努めています。5%近いC評価を減らしたいとも、考えています。

9 子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。



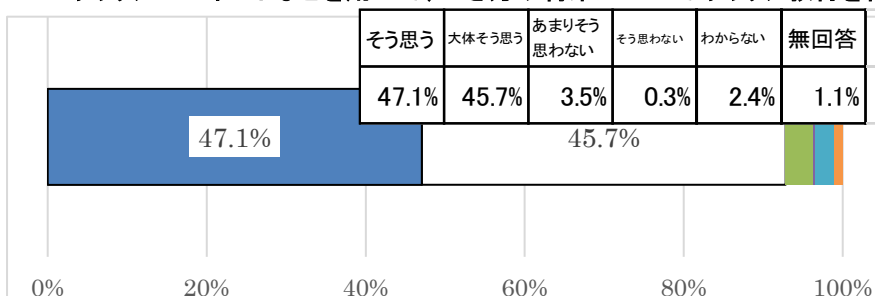
評価や評定が公正であることは当然ですが、それに加えて「子どもの意欲を高めること」「子どもが、これから何をすればよいのか伝えること」「テストや通知表だけでなく、日常的であること」が大切だととらえています。その意味で毎日のノートへの評価なども、大切にしたいと考えています。子どものノートは、時折ご覧いただき、励ましていただければ幸いです。

10 よりよい学校生活が送れるように、生活目標を設定したりきまりを守ったりする指導を行っている。



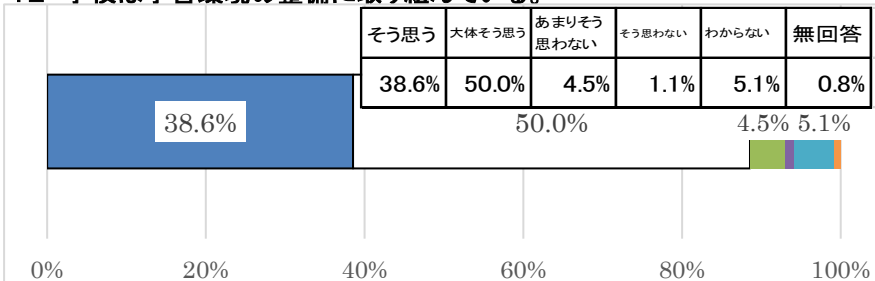
昨年度に続いて、約9割の肯定的評価をいただきました。例えば髪を染めるとかピアスをする、などについては保護者の皆様のお考えにも大きな幅があるようです。「学校のきまり」のあり方については悩み続けています。保護者会や「わいがや」などでご意見をうかがいたいと考えています。

11 キャリアパスポートなどを用いて、生き方や将来についてキャリア教育を行っていることを知っている。



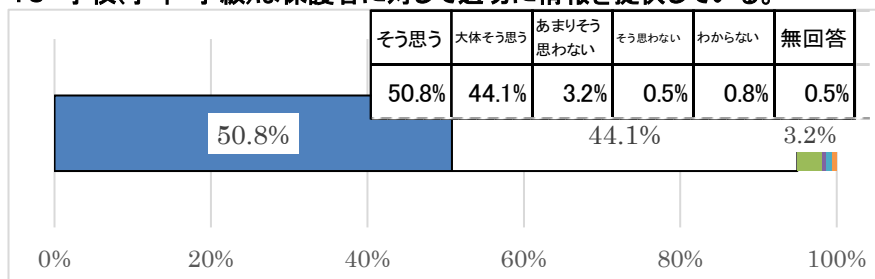
近年で最も良い評価です。現代の子ども達は、働く大人に触れる機会が少なく、働くことをイメージしにくいようです。本校では、今年も6年の学習で様々な職業の方に働くことについて語っていただきました。他学年では紙食器工場や藍染など地域で働く方々を見学させていただきました。これからも地域に学ぶ学習を重視し、地域で働く方々の姿を学ぶ機会を増やします。

12 学校は学習環境の整備に取り組んでいる。



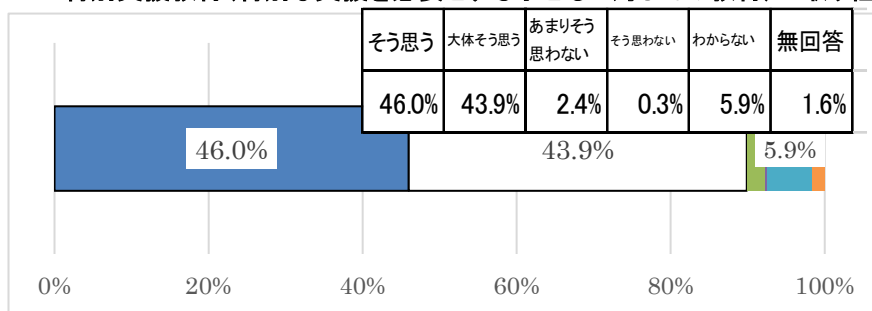
念願の体育館エアコンの設置を終えました。本校では、ここ数年で大画面TVの導入や、別室指導用教室整備、校庭遊具刷新などを進めたこともあってか、近年で最も良い評価をいただくことができました。ハードウェアの改善だけでなく、「最大の教育環境は教員だ。」という考えに立ち研修に励んでいます。物価高騰に伴い負担していただく諸費用が増える傾向にあることを懸念しています。

13 学校(学年・学級)は保護者に対して適切に情報を提供している。



近年で最も良い評価です。Home & Schoolの活用によって、お知らせや連絡帳を電子化しました。ホームページの「学校日記」でも学校の様子を配信しています。学校だよりも、紙面やHPだけでなく、デジタル配信との併用も考えてまいります。やはり直接お会いできる保護者会や「わいがや」には及びません。お忙しい中ですが、ぜひ学校に足をお運びください。

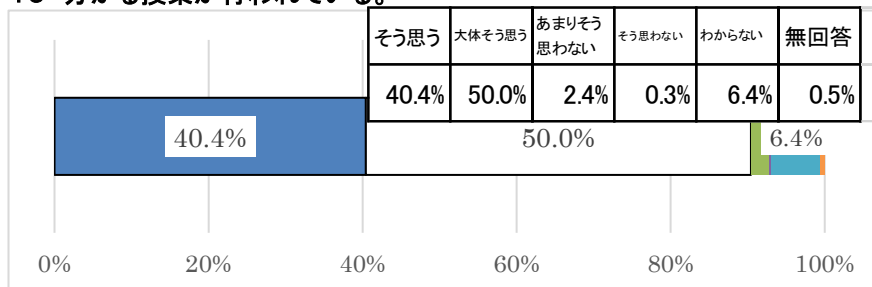
14 特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。



本校には「けやき教室」(特別支援教室)が併設されており割以上の児童が利用しています。これは第九小の大きな長所です。**「特別支援教育」は特別な教育ではありません。子ども達が困っていることに、できるだけ丁寧に対応したいという考え方です。**

次年度は校内研究で全校的に取り組んでいきます。

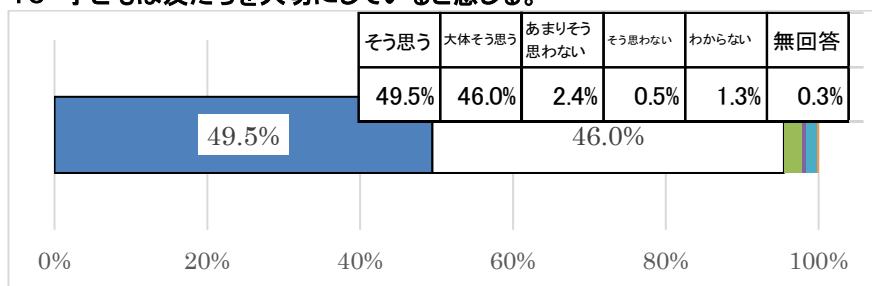
15 分かる授業が行われている。



前記項目8にも書きましたが、「楽しくて力のつく授業」「一人でも多くの子が参加できる授業」。これが本校の授業改善の合言葉です。授業改善にはゴールはありません。「学ばざる者は教えるべからず」です。

授業研究は、学校運営協議会や第二中学校の皆様にも公開しています。子ども達にも粘り強く学ぶ姿勢を育てたいと願っています。授業参観にお越しください。

16 子どもは友だちを大切にしていると感じる。

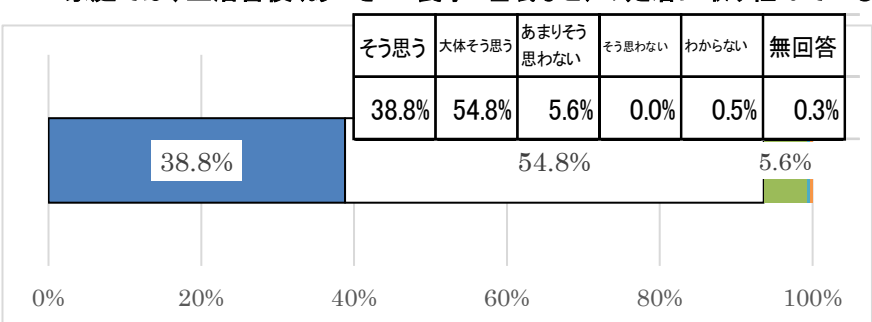


肯定的評価が九割以上、A 評価が約 5 割と、良い評価をいただいている一方で、友だちとのかかわりかたが、わからない子どもが増えています。

おそらく不登校の増加とも関係していると思われます。

人との関わりを学ぶ幼児期から小学校低学年にかけて、コロナ禍で集団での遊びができなかった子ども達ですから、**学校での集団学習や集団遊びを工夫していきます。**

17 家庭では、生活習慣(あいさつ・食事・睡眠など)の定着に取り組んでいる。



校内児童アンケートによれば高学年になるほど就寝時刻は遅くなり、ゲームやスマートフォンなどの影響が感じられます。授業中の居眠りや頭痛などの体調不良を訴える子の多くは睡眠のリズムが乱れています。

「九つの取り組み」に、「健康な生活習慣」とあるように、学校でも生活習慣の改善は指導してまいります。ご家庭との一体化が求められる項目です。学校でも、ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」は合言葉にしたいと思っています。

◇大きな課題～登校に困難を抱える子ども達の現状について～◇

本校では登校に困難を抱える子ども達の数が、急増しています。下記は年間の欠席数が 90 日以上の子どもの数をまとめたものですが、**不登校の定義である年間 30 日以上欠席の児童は、昨年度も今年度も、約 30 名にもなります。**(今年度は 3 月が未定のため未確定。日本全体の小中学校では 2020 年が 196000 人→2023 年が 346000 人)

このことを本校最大の課題と考え、「**①一人でも多くの子どもが参加できる学級集団づくりと学習活動の工夫**」「**②教室以外の第二の居場所づくり**」「**③コロナ禍で弱くなった保護者の皆様のつながりの回復**」に、取り組んでいます。

登校に重い困難を抱える児童数のうつつりかわり (年間の欠席 90 日以上/本年度は 3 月が未定のため未確定。)

2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	今年度
4 名	3 名	2 名	7 名	7 名	8 名	14 名	16 名(未確定)